



学校だより

くんとう

令和2年11月26日(木)

かほく市立七塚小学校

校長 宗広 進一

薫陶

学校教育目標：自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成

残り姿 ～ のこりすがた ～



玄関で脱いだ靴や使ったものを納めた様子などのことを「残り姿」と言うのだそうです。聞いたことがあるかもしれませんね。その人の人柄の美しさは残り姿に表れると言います。

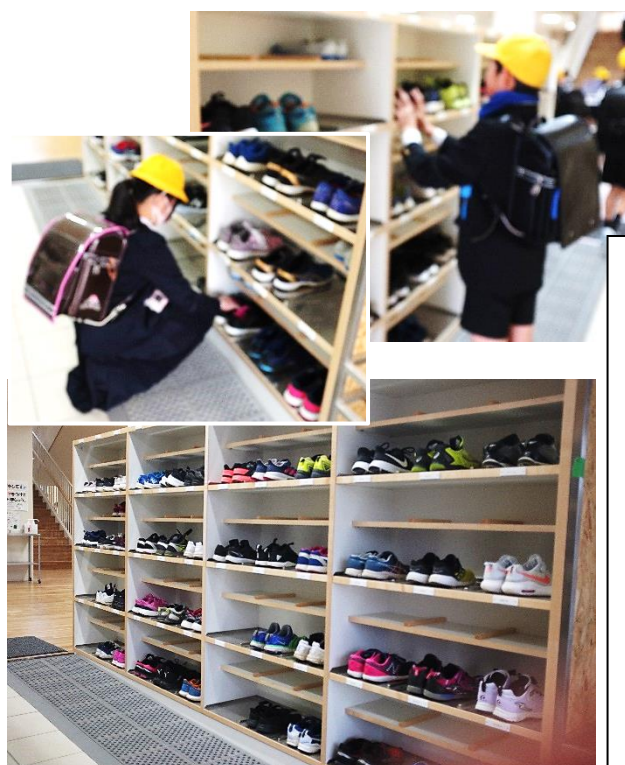
一昨年、こんな話題を耳にしました。サッカーのワールドカップ日本戦でのことです。ベルギーに負けた日本チームはサポーターに感謝し、ベンチやロッカールームをきれいにし、ロシア語で「ありがとう」と書かれたメモを残して去りました。また応援していた日本の観客は、試合の勝敗に関係なく自分たちの座席のごみを拾い、きれいにしてからその場を去りました。その後、一部の他国にもこの行動が広まったといえます。



ベルギーに負けた日本のロッカールーム

これらも日本人に昔から引き継がれている「残り姿」です。本校でも下足箱の靴や教室の棚など、いつもきちんと揃えている子ども達がたくさんいます。毎日の給食では、どの学級も食器、スプーン・箸をきれいに食具かごに戻すなど、後片付けがとても素晴らしくなっています。人の気持ちにさわやかな余韻を残すという意味では「あいさつ」も残り姿と言えるかもしれません。本校の子ども達の「おはようございます」という朝のあいさつや廊下で出会ったときの「こんにちは」の声にさわやかさを感じ、嬉しく頼もしく感じています。これからも、下足箱などの身の回りやあいさつなどに、美しい残り姿を感じる学校であつたらいいと思います。またそれは、学校でも、家でも、よそのお宅や公民館などに行った時にも。

小さいときにこのような躰を身につけておけば、大きくなっても自然にできるようになるでしょう。日々の小さな心がけが、身を磨き、美しい仕草に繋がっていきます。是非、ご家庭でも、残り姿の美しさを追求してみてください。



はきものをそろえる

はきものをそろえると 心もそろ

心がそろうと はきものもそろ

ぬぐとときに そろえておくと

はくとときに 心がみだれない

だれかが みだしておいたら

だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと

世界中の 人の心も そろうでしょう

永平寺・道元禅師の教え